

令和6年度「子どもの居場所づくり推進基金」助成団体一覧

No.	団体所在地	団体名	代表者	実施内容・目的
1	徳島市	特定非営利活動法人XOXO	竹内 昌夫	子ども食堂・多世代交流 地域の人の居場所を提供することによって、地縁・血縁の薄れ、崩壊等による「孤」の問題解決の一助とする。また、安価若しくは無料で食事を提供することで、周辺地域の住民、特にひとり親家庭等を支援する。
2	徳島市	川内サードホーム	岩 佑子	学習支援 第3の居場所での体験活動の中で子どもの豊かな感性を育み、明るい未来に繋げる。
3	徳島市	キッズピカソクラブ	平田 真弓	子育て支援・学習支援 障がい児や障がいをもつ家族の安全・安心な居場所を提供する。
4	徳島市	(社会福祉法人徳島県社会福祉事業団ワーク&ディラクリエ) 地域生活支援拠点ふらっとKOKUFU	高橋和孝	学習支援・子ども食堂・多世代交流 施設は国府町にあり、近隣の小学校から中学生までの児童及びその家族等を対象として行う。身近な地域で子どもたちの育ちを支援するため、学習支援、団らん等を実施して安心してすごすことのできる居場所づくりを推進する。また、活動を通じて次代の地域福祉の担い手を育成する。
5	徳島市	トーキョーコーヒー徳島	西岡 久子	イベント（大人・子どもの居場所） 全国で学校を長期欠席する子どもたちのアクションを受けて、「問題は子どもの不登校ではなく、大人の無理解」という視点から、本来の教育を考え、学び、大人の思考をアップデートすることを旨とする。
6	徳島市	沖洲放課後クラブ	岩見 宏康	学習支援・相談・体験活動 障がいの有無に関わらず、子どもたちの健全育成を願い、年間計画に基づいて、みんなの居場所や学びの場を提供する。
7	徳島市	自立支援団体はやぶさ	川村 敏仁	イベント 不登校児や引きこもりの状況を改善する
8	鳴門市	せとの子ども食堂～親子塾～	尾形 丹士	子ども食堂、フードパントリー、多世代交流、イベント 瀬戸地区は少子高齢化が急速に進み、若い世代の定着率も低い。子どもや高齢者の居場所作りを推進することにより、多世代交流が図れる。さらに、「地域のコミュニティの場」として、定着することによる、地域福祉の充実につながる。食を通じてのコミュニケーションと食糧支援（フードパントリー）、さらに親子塾による楽しみながらの学びの提供を通じて心の豊かさをも育む。
9	鳴門市	なると子ども食堂「わくわくキッチン」	脇 景子	こども食堂・フードパントリー 学童保育や課外活動に属していない子どもたちも、学校休業日でも安心安全に過ごし地域の様々な年齢や立場の人とのふれあいを通じて地域への思いを強めてもらう。
10	鳴門市	まんまる食堂	吉永 美代子	こども食堂・フードパントリー・イベント 地域の子ども孤食の解消・食育・シニア世代との交流
11	小松島市	居場所カラふる	山本 純	学習支援・体験活動・子ども食堂 一般家庭環境の中で、放課後の子どもの見守りや、夏休みなどの長期学校休業中には昼食を提供して一緒に過ごすことで、地域に子どもやその家族にとって安心・安全・居心地の良い居場所をつくる。また、地域または各地の企業や個人・支援団体とつながり、食品などを必要とする家庭に提供するパントリー活動を行うことで、子育て家庭の経済的負担を軽減する。さらに普段の食事の準備、料理教室での調理体験を通じて、子どもの生きる力（食べる・健康を考える）を育む。
12	阿南市	わいんちの食卓	西條 慈史	こども食堂・イベント（子どもの遊び場） 無料で遊べる場所を地域のコミュニティの居場所として提供し、子ども食堂を通じてイベントを行い、子ども達から大人まで笑顔で元気に健康にする取り組みを行う。
13	阿南市	キッズベース ぐー・ちょき・ぱー	武田 純子	こども食堂・多世代交流・イベント ・地域のつながりを作るため、子どもたちとその家族を含めた世代が交流できる居場所づくり ・消えつつある年中行事を季節ごとに体験し将来につなぐ
14	吉野川市	川島えがお倶楽部	明石 真和	こども食堂・イベント 子どものいじめや虐待を防ぎ、子ども食堂等を通じて交流をし、困りごとの相談を受ける。
15	吉野川市	子育てグループ スピカの森	乃一 美智子	多世代交流・イベント・学習支援・子ども食堂 過疎地域の実美郷のお年寄りにエネルギーと核家族化の進んでいる子どもたちに普段味わえない暖かい団らんの時間を味わってほしい。
16	阿波市	terra小屋	本城きよえ	イベント まちの空き家を活用したコミュニティースペースで子どもは安心してすごせる場所を、大人はモノづくりなどをしながら自然に人が集まる場所を活用し、子どもと大人のハブ的な場所を作る。また、子どもたちのチャレンジ企画も取り入れ、自主的な活動も取り入れる。活動の軸に音楽を取り入れ、自己肯定感を養う。
17	阿波市	五明テラス	三浦千代	イベント、こども食堂 もと空き家を活用し、地域の異年齢交流を行う。子どもたちの異年齢はもちろん、大人も、地域の方や移住者、お年寄りの方との交流を楽しむことのできる場所を提供する。読み聞かせや、人口減少で難しくなった日本の行事なども取り入れ、異年齢が楽しく交流できる場をつくる。

18	三好市	特定非営利活動法人 みよしサポート協会びあぞら	天野 雄二	こども食堂、学習支援 地域の子どもたちやその家族に対して安全で安心できる居場所を提供する。 近年増加している不登校の予防及び支援を行う。
19	三好市	社会福祉法人池田博愛会 地域交流拠点 青空	中村 忠久	こども食堂・イベント 核家族やひとり親家族が増えている中で、子どもたちが訪れ、イベント等を通じてみんなと楽しく活動できる場所とする。
20	三好市	いかわっこ	佐藤 豊美	こども食堂・防災学習・多世代交流 不登校な子ども、又家庭の事情により昨今孤独を感じる子ども、栄養面を懸念する子どもが増えている為、手作りの食事を提供することで栄養の改善、孤食解消に繋げる。
21	三好市	らいおん親子食堂 (旧：阿波池田らいおん親子食堂)	山下 善久	子ども食堂・多世代交流 孤食の防止、地域の子どもと大人のふれ合い
22	勝浦町	ヤオハチ食堂運営委員会	渡邊 祐介	こども食堂・イベント 孤食やいじめ、虐待など子どもに降りかかるトラブルを防止する。 孤立している子どもに新たな居場所を提供する。関連機関と連携し、トラブルの把握・解決を図り地域で子どもたちを守る。
23	上勝町	上勝キッチンあぐり家	酒井 里美	こども食堂・多世代交流 上勝町では、核家族や単親家庭、フルタイムで働いている世帯、高齢者世帯の増加による食のスタイルの変化に伴い、孤食や栄養の偏りなどの食事に関する不安を抱える割合が高くなっているように感じられる。加えて、町内には食事やお惣菜を販売する店舗が少なく、食事を日々提供することに対する負担も大きい。 また、過疎・少子高齢化の急速な進行と、町外からの移住世帯の増加などにより住民間の関係性が希薄になってきている。こうした課題に対して、食を通じた居場所づくりを行うことで、食育・供食の場を構築する機会とするとともに、特に子育て世帯と若者や高齢者が交流を図り、繋がりを持つ場とする。
24	石井町	みんなの教室「たいせつなこと」	濱田 恵	学習支援・多世代交流 ・子どもたちが過ごせる居場所を提供する。 ・学習支援、学校長期休業日（夏休み等）の宿題応援や、読み聞かせ活動。それらを通じて子どもたちの心の居場所も支援する。 ・核家族化やひとり親家庭の増加に伴う地域の繋がり希薄化を解消するために必要な子どもたちに対する支援を行う。 ・世代間交流の場となり、地域間の繋がりを深める。
25	神山町	てくてく笑みの会	粟飯 原一	子ども食堂・イベント 地域には移住者やシングルマザー（ひとり親家庭）が多く子育て見守りの必要性を感じる。孤立することがないように子ども食堂やパントリーを行う。
26	松茂町	あるでないで	河野 玲子	イベント 地域の子ども達と保護者が集える居場所づくり
27	北島町	北島いきいき子ども食堂	中野 真弓	こども食堂・多世代交流・防災学習 様々な環境下にある子ども達に安心安全で楽しい食事時間の提供と居場所を定期的に提供する。 また、県産の食材を使う事で徳島の食の素晴らしさの認知に繋げる。食育を通じて食材のもつ栄養面の知識や旬の野菜を使った料理を提供する。親や地域のシニア世代など異世代交流に取り組み高齢者をはじめとする孤食減、地域防災の強化に取り組む。
28	北島町	ひなたぼっこ	長岡 優子	体験活動 子どもの発達に不安を持つ親子の孤独を防ぐ。
29	北島町	北島子ども食堂あすなろ	永井 英彰	子ども食堂・多世代交流 核家族化等の生活様式の変化や、社会全般の関係性の変容などから地域での子育て環境が孤立している状況は否めない。また、SNS等の媒体は発展している一方で顔見知りの関係性は希薄化していること等を鑑み、家庭だけではなく地域全体で支えていく。食事の無償提供を通じた子育て環境の構築。
30	藍住町	子ども食堂あいちゃん (NPO法人みずすまし)	林 美保	子ども食堂・イベント・子育て相談 ・困窮家庭の子ども、保護者等に対してバランスの取れた食事の提供、食の重要性について啓発を行う。 ・子ども食堂において、共食のよさ、楽しさを味わい、みんなで食べることの重要性を啓発する。 ・地産地消、食品ロスの削減を行い、食を通して地域創生、環境保護の意識を高める。 ・子ども食堂に参加した子どもにレクリエーション(折り紙・工作・音楽鑑賞等)の機会を提供したり、保護者にはコーヒータ임을設定したり、居場所づくり、交流拠点の役割を果たす。
31	藍住町	Sunnyこどもゆめ広場	高野 隆志	学習支援・フードパントリー・子ども食堂 子どもが利用できる自習室がほとんどない藍住町において、自由に学習できる居場所と機会の提供。
32	上板町	上板なかよしこども食堂	瀬部 昌秀	子ども食堂 地域のこどもから高齢者まで、だれでもが仲良く楽しく集い、安心して暮らせるまちづくり。

33	那賀町	那賀町を良くする会	瀧 哲男	<p>子ども食堂・子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子どもたちが安心して参加し安全に遊べる居場所。</li> <li>・ひとり親家庭の増加に伴う孤食や虐待を防ぐとともに、仕事と育児介護のダブルケアの負担軽減やヤングケアラーを防ぐためのコミュニケーションや育児や介護に関する相談の場づくり。ピアサポーターの推進。</li> <li>・核家族化や地域コミュニティにおける人間関係の希薄化による子育てや介護の孤立化を防ぐための地域の居場所づくり、多世代交流の場づくり、子育て中のママたちが自分たちのペースで無理なく地域や仲間との関わりを持ち、子育てを楽しみ、学び、安心して過ごせる場づくり。</li> <li>・豊かな子どもの育ちをみんなで見守りあう仲間づくり。</li> </ul>
34	那賀町	まんなかの学校	藤園 麻里	<p>子ども食堂・多世代交流</p> <p>那賀町は森林率95%と自然資源に恵まれるも、交通網は脆弱、過疎、少子化高齢化問題を抱える中、廃校が増え、子ども同士の交流も困難な現状である。学校に馴染めない子どもは、町内の受け皿が無いため、自宅で孤立している状態にある。少人数でも、どんな子どもにも、子どもが必要とする学習とコミュニケーションの機会を作る。</p>
35	牟岐町	一般社団法人うみのこてらす	川邊 笑	<p>フリースペース・学習支援、ワークショップ</p> <p>人間関係や体験の機会が限定されがちな過疎地域において、とくに思春期の世代を中心に子どもたちが孤立することなく、豊かな交流と学びの機会となる場を提供する。</p>
36	海陽町	一般社団法人ふらっと	岩本 優	<p>子ども食堂・多世代交流</p> <p>町内で唯一の駄菓子屋が高齢化で閉店。保育所から大人までの抛り所がなくなった。毎月カレーを集ってきたみんなでワイワイ食べ、世代交流することで海陽町に活気を取り戻す。</p>
37	東みよし町	子ども食堂ピース	楠 敦子	<p>子ども食堂・多世代交流</p> <p>地域の人口減少により、住民のつながりが希薄になってきている。ピースに集うことで人々がつながれる居場所づくりとする。</p>
38	東みよし町	ほっこりタイム	乾 ハルヨ	<p>子ども食堂、多世代交流</p> <p>地域の子どもを中心に様々な学識や経験を持つ大人たちとの交流を通して子どもの選択を増やす。</p>